Tokyo Workers' Alpine Federation

都連盟ニュース

2016年9月 26日

No.368

神田山の会　大江さん提供

今 月 号 の 目 次

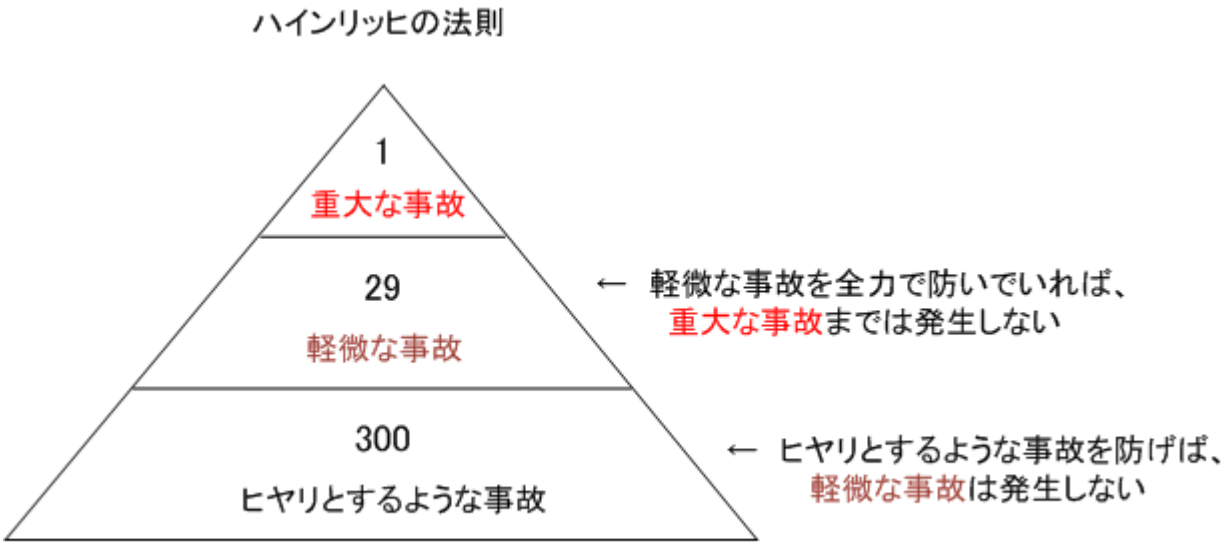
◇ 安全対策ネットワーク会議のご案内 …… P2
◇ スケッチハイク　第3弾　案内　女性ネット …… P3
◇ 地区連盟活動 「町田グラウス山の会」 …… P4
　「沢の渡渉及びセルフレスキュー実践講習」 報告
◇ 2017 年　労山カレンダー申し込み …… P5
◇ 第 24 回関東ブロック　雪崩講習会　案内 ……P6～7
◇ 第 14 期東京山スキー学校　案内 ……P8～9
◇ 第 6 回理事会報告 …… 10
◇ 事故一報　・トピックス　岐阜県山岳遭難防止条例について
　震災支援 …… P11
◇ 都連盟日程 …… P12

東 京 都 勤 労 者 山 岳 連 盟
〒162-0814　東京都新宿区新小川町5番24号
Tel & Fax 03-3260-0372　*E-mail twaf@twaf.jp　URL http://twaf.jp
発行責任者　上平　久治　　編集　陶山　正

2016 年度第 2 回　安全対策ネットワーク会議のご案内
（テーマ:ヒヤリハット事例と教訓について）

都連盟安全対策委員会は、下記の通り今年度 2 回目の「安全対策担当者ネットワーク会議」を開催します。今後の事故防止に役立てるため多くの会からご出席いただきたく、ご案内します。

1. 日時:2016 年 11 月 25 日(金) 19:00～21:00
2. 場所:労山事務所 1 階会議室(飯田橋)
3. 議題:ヒヤリハット事例と教訓について
(主旨)ご承知のように、1 つの重大事故の背景には 29 の軽微な事故があり、その背景には 300 の異常(ヒヤリハット)が存在するという法則があります(ハインリッヒの法則＊下記)。
各会ではどんなヒヤリハットが発生しているでしょうか？また、重大事故を予防する上でそれらの経験をどのように生かしているでしょうか？交流して参考にしたいと思います。ぜひご参加ください。



http://www.infraexpert.com/info/network7.html

4. 申し込み:参加者数と資料の部数を把握したいので、11/15(火)までに出席者の所属会名とお名前をメールで下記宛にご連絡願います。なお事前アンケートをお願いしたく、申し込み時にメール添付で送付してください。ネットワークに登録されていない会には、申し込みがあり次第、メールで用紙をお送りします。
5. 参加費:無料

申込先:安全対策委員会委員長　島村正博(所属:八王子おおるり山の会)
メールアドレス:shimamura-desu@nifty.com

スケッチハイク　第３弾

今年も「芸術の秋」の季節がやってきました。自然の中でゆったりとした
時間を過ごしてみませんか。初心者・男性　大歓迎！
あなたもアーティストに…？

日時：　11 月 19 日（土）　小田急線　秦野駅・改札口　8 時 30 分　集合
場所：　丹沢　弘法山
参加費：　500 円　（交流会費　込み）
持ち物：　ハイキング装備、昼食、絵の道具
（スケッチブック・ハガキ・絵の具・ペン・クレヨン等）

＊　講師＝青柳百合子さん（神奈川・ヤマブキの会所属　絵手紙講師）
＊　昼食時、豚汁を用意しますので、食器をお持ちください。
＊　募集人数＝15 名　（満員になり次第締め切ります）
＊　小雨決行
＊　計画書は各自、所属会に提出して下さい。

主催：東京女性ネットワーク

申し込み先：大江睦子　☎　03-3913-8690

✉　4847sprk@jcom.zaq.ne.jp

【地区連盟活動紹介】

町田地区「町田グラウス山の会」　「沢の渡渉及びセルフレスキュー実践講習」

外部講師：渡邊輝男氏を招いて
参加者総数　16 名　で実施した。

過去の講習では、渡渉技術の基本について説明を聞いて実践した後、丹波川本流を遡行していたが、今回は、参加者数が多いこと、内容にセルフレスキュー技術も加えたことと等から、最初の 5 時間は渡渉の基本技術に関する実践練習を行い、残りの 2 時間は滝上での確保手順及びセルフレスキュー技術に必要な最低限度のロープワークについて説明を受けた。

＜実施した主な講習内容＞
前半　9:00～13:50　丹波川本流下部
① 一人での渡渉（姿勢、足の進め方、深さ、流れの見極め）
② 〃　（1 本の倒木またはトレッキングポールを利用した渡渉）
③ 複数名での渡渉（二人組での横並びスクラム渡渉）
④ 〃　（二人組での正対スクラム渡渉）
⑤ 〃　（三人組での横並びスクラム渡渉）
⑥ 〃　（三人組での正対スクラム渡渉）
⑦ 〃　（三人組での前 2、後 1 スクラム渡渉）
⑧ ロープを利用した渡渉技術（末端交換法）、下流での引き寄せの重要性
⑨ へつり技術、ザックピストン、ラッコ泳ぎ

後半 14:00～15:50
⑩ ペツル・タイブロックの正しい使い方
⑪ 滝登攀後のセカンドビレイ手順
滝の落ち口から離れた場所で支点を取り、落ち口近くでメインロープを使ってインラインエイトノットを作り、ビレイする方法
⑫ 逆手、順手、ムンターヒッチ、クローブヒッチ、インラインエイトノットの結び方
⑬ 3 箇所の支点を利用した流動分散、スリングを使った固定
⑭ スリングを用いた、引き上げロープのオートブロックの反転しない結び方
⑮ エイト環（下降器）の使い方、オートブロックによるバックアップ
⑯ カウンターウエイトによる要救助者の引き下ろし（介助懸垂）
120cm スリングを利用した背負い方、P.A.S（パーソナルアンカーシステム）、ディジーチェーンを利用した背負い、引き下ろし

2017年版 労山カレンダー申込先 FAX 03-3260-0372　Mail : twaf@twaf.jp

地区連盟 or 山岳会＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

申し込み部数: 発注部数　＿＿＿＿＿＿＿部

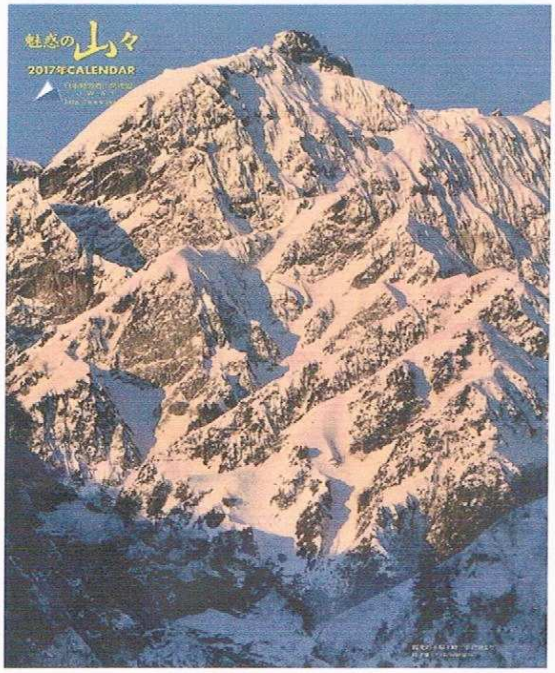
名入れは 9 月中までに申し込みください。

50 部以上は無料 49 部以下は、2000 円の版代がかかります。

価格：都連盟で一括購入するので 1 部　1000 円です。

カレンダー送付先

〒 ：	住所:
氏名:	電話番号:
名入れの場合	名称 ：



第 24 回　関東ブロック

「雪崩事故を防ぐための講習会」ご案内

主催　日本勤労者山岳連盟　関東ブロック協議会

※実技講習参加者は、事前の机上講習の受講が必須条件ですので必ず受講の事。

実施要項

- 日　時　2017年1月21日（土）9時　～　1月22日（日）14時
- 場　所　谷川岳天神平及び白毛門登山口・土合山の家周辺
- 宿　泊　土合山の家　JR 上越線土合駅　徒歩５分　Tel. 0278-72-5522
- 集　合　1月21日（土）9時　土合山の家
- 定　員　基本①クラス（初めての参加）20 名（登山・山スキー・ボード）
  基本②クラス（2 回目～経験者）10 名（登山・山スキー・ボード）
- 受講費　実技講習　23,000円　学割 20,000 円
  （一泊二食宿泊料・講習料・資料代・ロープウェイ料金等を含む）
- 装　備　冬山装備一式、雪崩講習に必要な用具
- 締め切り：2016 年 12 月 31 日
- **問合せ先・申し込み**

東京都勤労者山岳連盟　　担当　川嶋

Tel　03-3260-6331　FAX　03-3235-4324　Eメール　jwaf@jwaf.jp

受講費振込先

郵便貯金口座「ぱるる」口座名 カワシマ タカシ 記号 １０３１０ 番号 ９０５６５７０１

＊受講申込みと同時に、受講費を払い込んでください、定員になり次第、締め切りとさせていただきます。尚、キャンセルは１月 15 日迄とし、その後は実費を頂きます。

実技参加者は受講申込に際し、以下の事柄についてお知らせください。メール／FAX にて

1　氏名・生年月日・性別
2　住所および電話番号（メール通信が可能な方は、ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽも）
3　所属山岳会があれば会名、なければ所属なし。
4　新特別基金加入口数または、その他の山岳保険加入内容（保険は必ず加入のこと）
5　積雪期登山の経験年数又は積雪期に登った山。過去講習会参加の有無
6　緊急時の連絡先
7　希望講習クラス（例：一般基本①、山スキー基本①など）
※基本クラス②、山スキー基本②は原則として基本①修了者が対象となります。

❖ 机上講習会開催のご案内　各定員４０名　**講習料¥2,000 円（テキスト・講習代）**

	開催日･時間	会場	時　間	定員	講師
Aコース	12 月　4日(日)　13:00～	全国連盟事務所	4時間	40 名	川嶋　／　陶山
Bコース	12 月　7日(水)　19:00～	全国連盟事務所	2時間	40 名	川嶋　／　陶山
	12 月 14 日(水)　19:00～	全国連盟事務所	2時間	40 名	川嶋　／　陶山

※日曜日の午後半日Ａコースまたは平日の夜間２回Ｂコースのどちらかを選択して下さい。

※机上講習会だけの参加も受け付けています。

申込用紙は都連盟ホームページ http://twaf.jp/ にも掲載しますので参照願います。

2016 年 9 月 26 日　No368

第 24 回　関東ブロック「雪崩事故を防ぐための講習会」申込用紙

＊ 机上参加予定記入欄（下記のいずれかを選択して□に□点でチェック）

□Ａコース　　□Ｂコース　　□その他（　　）

※ 今回、机上のみ受講は右の□に□点でチェック。　□机上のみ　□実技受講検討中

実技希望講習コース　（希望のクラスをひとつだけ、□に□点でチェック）

基本クラス①（初受講）　□　登山

□　山スキー・テレマークスキー・スノーボード

基本クラス②
（基本①修了者が対象）　□　登山

□　山スキー・テレマークスキー・スノーボード

所属団体＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

年齢＿＿＿＿＿＿　性別　□　男　　□　女

連絡先　住所／〒＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　FAX＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

E メール＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

新特別基金加入口数または、その他の山岳保険加入内容（保険は必ず加入のこと）

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

積雪期登山の経験年数又は積雪期に登った山。過去講習会参加の有無

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

緊急時の連絡先　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

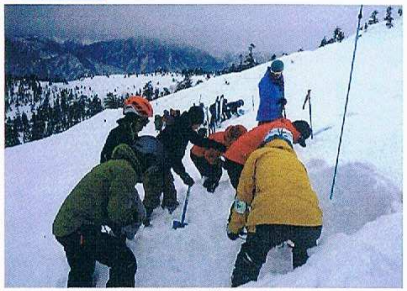
講習内容（抜粋）

実技Ⅰ　雪崩レスキュー訓練

雪崩トランシーバー、プローブ、シャベル、雪山三種の神器を使ってのコンパニオンレスキュー訓練

人形を使っての実践的な埋没者の掘り出し、救出訓練

実技Ⅱ　山スキー基礎訓練



シール登行、滑走基礎訓練と、シャベル・コンプレッションテストによる積雪層の観察など

実技Ⅲ　雪洞・ビバーク訓練

雪洞を掘削し、実際に泊まって雪山ビバーク術を学習

実技Ⅳ　総合実践山行

リーダーは受講生。班ごとにミーティングを行い、実際の計画書を作成します

総合実践山行は北アルプスの歴史ある山スキーコース「蓮華温泉越え」へ。1泊2日の縦走です

主催：NPO 法人 東京山スキー学校

Tokyo Yamaski Gacco

ホームページ **http://yamaski.org**

Eメール **tyg@yamaski.org**

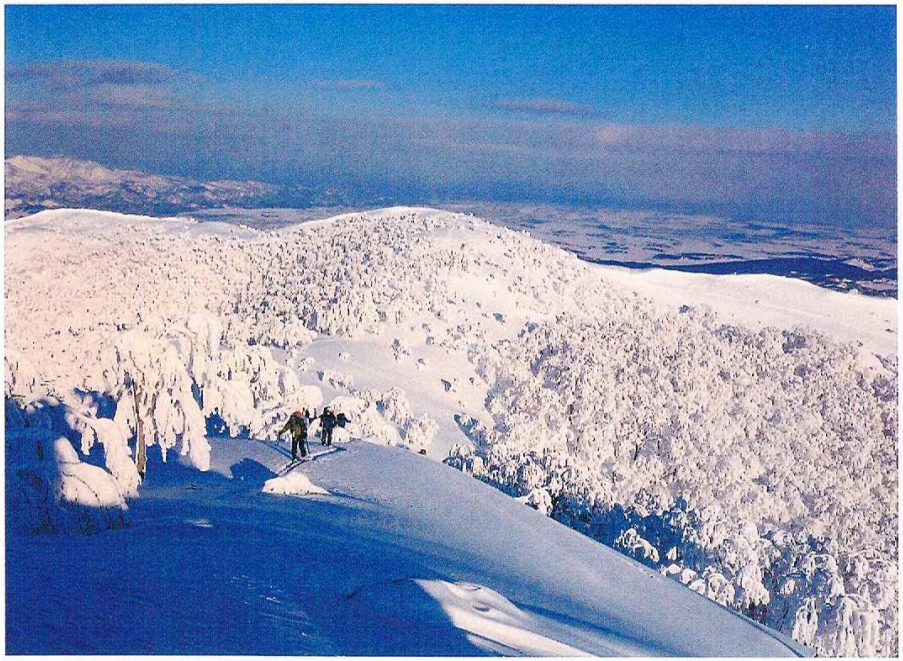
後援：東京都勤労者山岳連盟

自立したバックカントリースキーヤーをめざして！

NPO 法人 東京山スキー学校

山スキーで雪山に入ろう！

第 14 期 受講生募集



実技Ⅲ（雪洞・ビバーク訓練／鍋倉山）ブナの樹氷森を抜けて稜線へ

東京山スキー学校　第 14 期受講生募集要項

主催：NPO 法人東京山スキー学校

雪山にスキーを使って入るために必要な生活技術、雪崩についての知識と実践、スキーの基礎操作等を体系的に学びます。

●受講対象

ゲレンデの中級斜面をパラレルターンで滑ることができ、スキーを使って冬山へ入ろうという意欲のある人。

●講習日程　(座学３回・実技４回)

1. **開校式・座学Ⅰ　2016 年 11 月 26 日（土）13：00～**
   会場：日本勤労者山岳連盟会議室
   ガイダンス、計画から実践まで、冬山の気象、山スキーの装備について。

2. **座学Ⅱ　雪崩座学講習　2016 年 12 月 4 日（日）13：00～**
   会場：日本勤労者山岳連盟会議室　雪崩に遭遇しないために雪崩を知る

3. **実技Ⅰ　雪崩レスキュー訓練　2017 年 1 月 14 日（土）～　1 月 15 日（日）**
   北アルプス・落倉自然園、天狗原下部 ／ 栂池周辺宿泊

4. **座学Ⅲ　読図座学講習　2017 年 1 月 18 日（水）19：00～**
   会場：日本勤労者山岳連盟会議室　地形について理解する

5. **実技Ⅱ　山スキー基礎訓練　2017 年 2 月 4 日（土）～　5 日（日）**
   上越・かぐらスキー場周辺 ／ かぐら周辺宿泊

6. **実技Ⅲ　雪洞・ビバーク訓練　2017 年 2 月 25 日（土）～　26 日（日）**
   場所未定 ／ 雪洞泊

7. **実技Ⅳ　総合実践山行　2017 年 3 月 25 日（土）～　26 日（日）**
   北アルプス・栂池高原～天狗原～蓮華温泉（山小屋泊）～木地屋集落

◆実技は土曜日朝、現地集合です。※金曜夜発の車に乗り合わせ、前泊することも可能です。その場合は、都内ターミナル駅を金曜夜９時発、土日２日間の日程となります。

●受講料　55,000 円　損害賠償保険料金を含む

※納入された受講料は、運営に支障をきたしますので返却はいたしません。
あらかじめご承知おきください。

●その他にかかる費用の目安

〈宿泊費〉　1 泊 2 食付き、約 8,000 円
〈リフト代〉　ゲレンデトップまでのリフト代やロープウェイ代
（実技Ⅱの深雪訓練は、かぐらスキー場２日券を購入）
〈昼食・行動食〉　各自で用意していただきます。

●装　備

山スキー道具一式と、雪崩トランシーバー、プローブ、シャベルは必須です。
その他、実技Ⅲの雪洞訓練では、雪洞の宿泊装備などが必要となります。
※詳細については座学Ⅰのガイダンスで説明いたします。

●募集定員・お申し込み

募集定員：20 名
※定員になり次第締め切ります。
NPO 法人東京山スキー学校のホームページ
http://yamaski.org/　の
申し込みフォーマットから
お申し込みください。

雪洞に泊まるビバーク訓練の一夜(実技Ⅲ)

●お問い合わせ

Ｅメール：**tyg@yamaski.org**

鍋倉山の巨樹“ブナ太郎”の前で記念撮影(実技Ⅲ)

２０１６年度８月第６回理事会報

記　鵜澤

日　時：　２０１６年９月５日（月）　19:30～21:20　場　所：　全国連盟　１階会議室

出席者：　臼井、小幡、上平、岸田、栗原、佐々木、芝田、島村、陶山、松野、吉岡、脇坂、柳下、三原、鵜澤

1. 各部局報告

(1) 事務局：以下の件について資料の通り報告された

①関東ブロック役員交流会報告　②9 月～12 月までの予定　③登山時報購読状況　④印刷機使用状況

(2) 組織部：以下の件について資料の通り報告された

①第 16 回全国登山研究集会（11/5,6）のレポートの募集対応、時間もないので、理事が所属している会の入会後二年未満の方にアンケートしてみる。

11/6 の分科会へは小幡、芝田、島村の三名が参加予定。

②10/17 山のうた集会　③例会訪問について⇒今月はなし

(3) 教育安全対策部

①安全対策委員会

1. 前剱東尾根事故（2015/8）概要公表について、当該山岳会に打診中。
2. 事故一報（8/9 分まで追記）
3. 古賀志山死亡事故について（会より報告書が到着済み）

⇒登山時報編集部から、3 年前に発生した岡山県の「七種山死亡事故」に酷似しているので、二つの事故を研究して記事にしたい旨の打診あり。

4. 安全対策ネットワーク会議について⇒ヒヤリハットをテーマに 11/25 実施予定

②教育指導委員会・東京登山学校（教育安全対策部）

1. 町田グラウス「沢の渡渉及びセルフレスキュー実践講習」報告
2. ハイキングリーダー学校について今年度の総括報告　3. 岩登山学校について今年度の総括報告

(4) 広報部

①都連盟ニュース 367 号発行の報告　368 号の印刷・発行原稿締め切り 20 日印幸 26 日

2. 各委員会報告

(1) 自然保護委員会

①関東ブロック自然保護交流集会⇒10/15,16 予定

(2) 東京救助隊

①名簿作成準備中

②8/29 定例会実施。登攀交流集会は雨天中止。11 月搬出訓練実施予定

(3) 海外委員会

(4) ホームページ委員会

(5) 女性ネットワーク委員会

①第 15 回東日本女性交流登山集会⇒10/9,10 富山県で実施予定

②11/19 スケッチハイクを実施予定

(6) 震災復興支援委員会

①10/29,30 活動予定について報告

3. 地区連盟報告事項

(1) 立川での山岳会創設（都連盟の応援必須）報告（田上氏奮闘）

(2) 杉並労山 50 周年記念講演会「竹内洋岳」: 都連盟ニュース参照

4. 審議・提案事項

5. 全国連盟

(1) 関東ブロック雪崩講習会⇒2017 年 1/21～22 予定（白毛門登山口・土合山の家周辺）

(2) 関東ブロック自然保護交流集会⇒10/15,16 栃木県・日光にて予定

(3) 関東ブロック役員名簿について⇒作成中

(4) 第 16 回全国登山研究集会について⇒資料の通り報告された

(5) 2017 年度版労山カレンダーについて

6. その他

(1) 岐阜県山岳遭難防止条例の過料規定の施行について

⇒登山届を出さないと罰金になるので注意喚起

(2) 旅行業法規制に関するＩＣＩの書類送検の件について説明あり。次回もう少し資料で学ぶ。

【事故一報】　今月は少なくて良かった

8 月 27 日　北八ヶ岳　八千穂高原　バンガローの階段で足を滑らせ転倒、背部を強打。背部肋骨骨折　76 歳　男性

8 月 28 日　南アルプス　甲斐駒ヶ岳　尾白川渓谷の旭滝の岩場で足を滑らせ転倒、左顔面と左腕を強打。　左腕骨折　63 歳　女性

9 月 17 日　奥多摩　大塚山　北尾根を下山中、左足が杭につまずき右足でカバーリングしたときに右足に負荷がかかった。右足くるぶし剥離骨折　64 歳　女性

事故一報は、全国連盟への提出と併せて東京都連盟にもお願いいたします。

郵送：〒162-0814　東京都新宿区新小川町 5 番 24 号　FAX：03-3260-0372　E-mail：twaf@twaf.jp

トピック

岐阜県から9月1日に山岳遭難防止条例が発表されました。

12 月 1 日から施工されます、登山予定されている方は、遵守とともに注意してください。

今回は罰則金が提示されるのが特徴で

平成２８年 ９ 月 １ 日（木）　岐阜県発表資料

担当課	担当係	担当者	電話番号
防災課	山岳遭難対策係	桂川義彦	内線 3347 直通 058-272-1131 ＦＡＸ 058-278-2522

岐阜県山岳遭難防止条例の過料規定の施行について

「岐阜県北アルプス地区及び活火山地区における山岳遭難の防止に関する条例」第７条（過料規定）を、下記のとおり施行します。

なお、施行にあたり事前周知に努めるとともに、登山届提出の指導体制の強化により安全登山を推進してまいります。

記

1　過料規定の施行

（1）施 行 日　　平成 28 年 12 月 1 日から（白山は除く）

（2）対象区域

［北アルプス］【通年】 西穂高・奥穂高区域（西穂高岳山頂から奥穂高岳山頂の間）滝谷区域、穴毛谷区域

【12 月 1 日から 4 月 15 日まで】上記以外の登山届提出義務付けエリア

［御　嶽　山］【通年】 火口域から 1km 以内の区域

［焼　　岳］【通年】 火口域から 1km 以内の区域

（3）過料の額　　５万円以下

（4）対 象 者　　届出をせず、又は虚偽の届出をして登山した者

2　登山届提出の指導体制の強化

指導強化日及び抜打検査日を設定するとともに、山中にある登山道（分岐点）や過料対象エリア周辺の監視地点においても登山届の提出確認、提出指導を行います。

❖ 東日本大震災復興支援＆熊本・大分地震支援

❖ 今後の支援金の取り扱いは特に明記がなければ案分して被災地への支援に使用する。

❖ 特に熊本・大分への支援を望まれる方はそれぞれ明記して募金をお願いします。

担当理事 栗原英一 hodaka2350@gmail.com

今後の活動計画について

(1) 福島県の山/訪問と、放射能測定。避難解除地区への訪問と視察具体的な行動予定として

・10/29(土) 飯田橋駅　出発→いわき市・二つ箭山での線量測定→南相馬市宿泊

・10/30(日)　南相馬市→飯館村→浪江町諸戸地区→浪江町市街地→希望の牧場→宿舎→帰京

(2) 11/12～11/14 石巻水沼地区支援活動に積極的に参加を要請すると共に、を終了後、2017 年度活動方針と具体的活動計画について検討する。

２０１６年１０月　予定表

		理事会･部会･委員会
1	土	
2	日	
3	月	理事会
4	火	
5	水	秋から冬の気象講座
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	東日本女性交流登山集会（富山県）
10	月	東日本女性交流登山集会（富山県）
11	火	
12	水	
13	木	
14	金	
15	土	関東ブロック自然保護交流集会（栃木県）
16	日	関東ブロック自然保護交流集会（栃木県）
17	月	山のうた声集会（連盟事務所）
18	火	
19	水	
20	木	
21	金	
22	土	
23	日	
24	月	
25	火	
26	水	
27	木	救助隊定例会
28	金	
29	土	福島県の山／放射能測定、避難解除地域訪問
30	日	福島県の山／放射能測定、避難解除地域訪問
31	月	救助隊定例会／都連盟ニュース印刷発行

２０１６年１１月　予定表

		理事会･部会･委員会
1	火	
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	全国登山研究集会／全国ハイキング交流集会
6	日	全国登山研究集会／全国ハイキング交流集会
7	月	理事会
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	
12	土	全国登山者自然保護集会（茨城県）石巻復興支援
13	日	全国登山者自然保護集会（茨城県）石巻復興支援
14	月	石巻復興支援
15	火	
16	水	
17	木	
18	金	
19	土	女性ネット・スケッチハイク
20	日	
21	月	代表者会議
22	火	
23	水	
24	木	
25	金	安全対策ネットワーク会議
26	土	東京山スキー学校開講
27	日	救助隊定例会
28	月	救助隊定例会／都連盟ニュース印刷発行
29	火	
30	水	

２０１６年１２月　予定表

		理事会･部会･委員会
1	木	
2	金	全国連盟望年会
3	土	
4	日	関東ブロック雪崩講習会机上4.0H（予定）
5	月	理事会
6	火	
7	水	関東ブロック雪崩講習会机上2.0H（予定）
8	木	
9	金	
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	
14	水	関東ブロック雪崩講習会机上2.0H（予定）
15	木	
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	
21	水	
22	木	
23	金	
24	土	
25	日	
26	月	救助隊定例会／都連盟ニュース印刷発行
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	
31	土	

２０１７年１月　予定表

		理事会･部会･委員会
1	日	
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	東京山スキー学校実技（雪崩レスキュー）
15	日	東京山スキー学校実技（雪崩レスキュー）
16	月	
17	火	
18	水	東京山スキー学校机上（読図）
19	木	
20	金	
21	土	関東ブロック雪崩講習会
22	日	関東ブロック雪崩講習会
23	月	都連盟ニュース印刷発行
24	火	理事会
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	救助隊定例会
31	火	

【編集後記】
秋の長雨で思う通りに山に行けなかった方も多いでしょう。9月1日発表で岐阜県山岳遭難条例が新しく発令された。詳しくは今号のトピックスに掲載しておいた良く理解してほしい、計画書の提出義務を怠ると過料（罰金）されるという最大5万円、岐阜県すべての山ではないのでそこは注意が必要だ、山域と季節（特に積雪期）を指定している。最近では長野県の登山安全条例都連盟ニュースNo.365号などもあるので山の計画をするときには注意してほしい。 T・S